

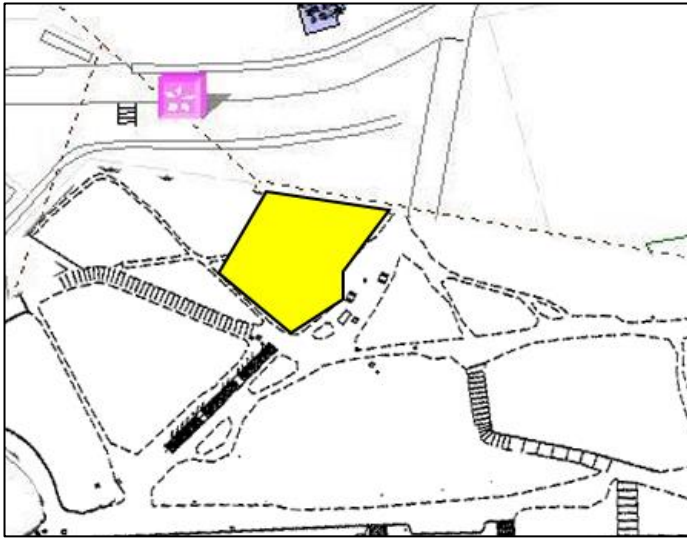
武蔵台公園保全活動作業記録

1 日時 令和3年12月22日(水) 午前9時30分～正午

2 参加者

- (1) 武蔵台緑地保全ボランティア1名
- (2) 自然環境調査員会議委員7名
- (3) 府中市環境政策課自然保護係

3 作業場所 Aエリアの一部(通路を挟んだ西側)



作業前の状態

当該エリアは、令和2年7月に武蔵台緑地植生ガイドラインを作成後、初作業となるエリアである。全体的にアズマネザサが生育しているほか、日光が当たる通路際には、アカマツやコナラの実生木及び下草が生育している。また、エリア内部にはアオキやトウネズミモチ、ヒサカキといった園芸・外来種を含めた常緑樹が生育していた。

4 活動内容

今回の作業は、見通し、風通しのよいアカマツ林を維持するという目標に向けて、Aエリアで不要となるササの刈り取り、常緑樹の除伐を主として実施した。

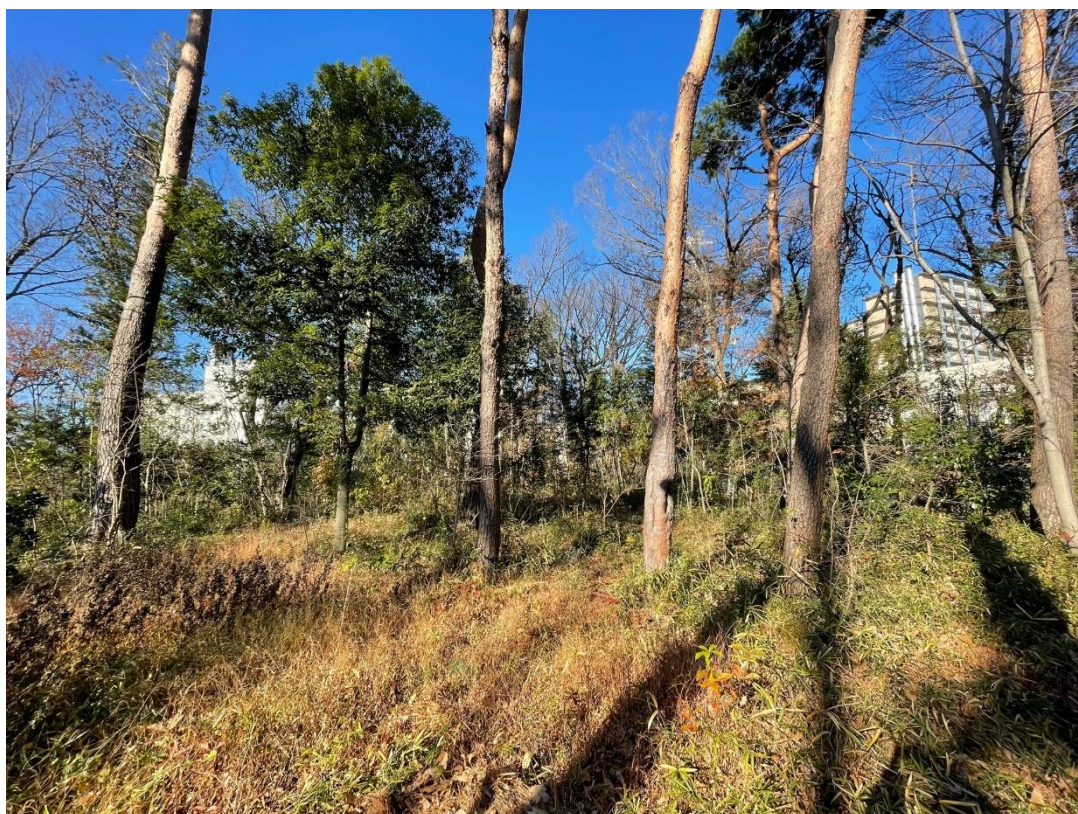
ササについては、概ね刈り取ることができた。また、常緑樹についても高木化しているもの以外は、概ね除伐が完了したことで、今後の下草刈りや落ち葉かき、実生木の育成にむけた下地を整えることができた。

5 その他記録など

- ・ 今後は再びササが生育することが予想されるため、継続しての刈り取りを行い、ササの侵入を防いでいくことが必要である。
- ・ 腐葉土の堆積を防ぎ、林床をアカマツの生育に適した状態にするため、下草刈り及び落ち葉かきを次年度の活動として行うことを検討する。
- ・ アカマツの実生木と一緒にコナラの実生木が多数生育しているが、すべてを本エリアで生育することはできないため、イベントを活用するなど、移植を検討したい。

6 記録写真

【作業前】



【作業中】



【作業後】



